

な るほど その26 本願寺

『朝の法座(大谷本廟)』

開催日時: 令和元年8月6日(火)～8月10日(土)

開催場所: 大谷本廟仏殿

「朝の法座」は、昭和32年8月7日～11日「黎明講座(れいめいこうざ)」として開催されたものを起源とします。昭和33年4月11日～16日、大谷本廟において宗祖親鸞聖人700回大遠忌法要の予修法要(よしゅうほうよう)が勤修されましたが、その年を機に、名称を「朝の法座」と改称しました。

現在では、毎年8月6日～10日までの5日間にわたって開催いたしており、本年(令和元)年で、62回目を迎えます。

京都市内の寺院では、「暁天講座(ぎょうてんこうざ)」という名称で親しまれており、大谷本廟がある東山区では知恩院をはじめとして各寺院で5日間ずつ、大谷本廟ではその締めくくりの法座が修行されています。

朝6時よりのお勤めの後、講師よりお話、そして朝粥の接待がごございます。

本願寺
恒例法要と行事 8月

『孟蘭盆会(本願寺)』

開催日時: 令和元年8月14日(水)～8月15日(木)

開催場所: 本願寺 阿弥陀堂・御影堂

盆会は釈尊の弟子目連尊者(もくれんそんじゃ)の母が、仏法によって餓鬼(がき)の世界から救われたという故事から起こったといわれており、歓喜会(かんぎえ)ともいいます。

『戦没者追悼法要(本願寺)』

開催日時: 令和元年8月15日(木)

開催場所: 本願寺 阿弥陀堂・御影堂

戦争で犠牲になられた全ての方々を追悼し、過ちを二度と繰り返してはならないという平和への決意とあらためて「いのちの尊さ」を認識させていただく法要です。



朝の法座(大谷本廟)



孟蘭盆会



内陣出勤する法中住職



金龍先生の法話中(帳場より撮影)

ソフトな語り口調で、有り難いご法話を聴聞させてもらいました。仏さま(阿弥陀如来)の前で、心静かに手を合し、『有り難いなく、尊いなく』と、改めて思わせてもらえるような、心に響くご法話でした。

梅雨時期ですから、お天気が心配で、そして何より、多くの参拝者があるだろうか？、いろいろ心配の種が尽きませんでした。

嬉しいことに、天が微笑んで下さったのか、法要開催日当日は、気持ちの良い天候で、爽やかな風が心地よく吹く、まさに絶好の法要日和でした。とは言え、梅雨の晴れ間は、草刈り作業をされないといけないところですが、皆さん寺参りを優先して下さったのか、本堂は多くの参拝者でありました。

ご講師は、北海道から遠路遥々お越し頂きました、金龍先生。

住職レター

七月十二日(金曜日)に厳修しました『東広島組追悼法要・安居会(夏の法要)』、無事に勤め終えました。東広島組内二十二の寺院が輪番制で、毎年この時期にお勤め致します。ゆえに、二十二年前には、善教寺本堂にて勤めているのですが、前回開催の記憶は全くありません。余裕なく、日々の法務に邁進していたのでしよう。